



平成 27 年 11 月 30 日
新宿区立江戸川小学校

No.609

みんなを幸せにした学芸会

校長 中西 憲 次

11月13日、14日に行った学芸会には多くの保護者、地域の方々にお越しいただきました。座席を240席用意したのですが、常に満席の状況でした。途中で離席される方が少なく、始めから終わりまで見ていただいた方がたくさんいました。我が子の劇が終わると帰ってしまうという学校が多い中ありがたいことと感謝しています。

私は学校経営の柱の一つに、「子ども、保護者・地域の方々を楽しみにしている行事を大切に学校」を掲げています。何故なら、行事はともすれば単調になりがちな学校生活に望ましい秩序と変化を与え、子ども達の学校生活にリズムを与えてくれるものだからです。これからもより良い行事を実現していきます。

さて、今回の学芸会を通して、子ども達は達成感を味わい、大きな自信をつけ幸せを感じたことと思っています。それは、当日見て下さった方々がおもしろいところでは笑い、シーンとなる場面では固唾を飲んで見て下さったことで、自分達の劇・合奏が受け入れられていると実感したからです。また、学芸会の感想を読むと、「全学年舞台でみんなが堂々と演じている姿に胸がいっぱいになりました。」「合奏は、レベルが高くどの学年も聴きごたえのある演奏ばかりでした。」など保護者・地域の方々も幸せな時間を過ごして下さったものと思っています。私達教職員にとっても、子ども達の成長を感じ、保護者・地域の方々喜んで下さったことで幸せを感じています。みんなを幸せにした学芸会だったと喜んでいきます。

子ども達の学校生活を見て、「本気」で、「ものすごく真剣」に取り組むということが少なくなってきたかと思っています。自分の経験を振り返ると、「本気」で、「ものすごく真剣」に取り組んだあとは自分が成長していることを実感しました。これはだれもが経験していることだと思います。今回の学芸会も子ども達、私達教職員が「本気」で、「ものすごく真剣」に取り組むということがなければ、こんなに保護者・地域の方々喜んでいただけなかったものと思っています。「本気」で、「ものすごく真剣」に子ども達を育てるといふ学校の姿勢をこれからも大事にしていきます。

12月の
生活目標
使った物の
あとかたづけ
をしよう

「食べること」は命のバトンをつなぐこと

栄養士

私たちは食べ物の命をいただくことによって命を受け継いでいきます。受け継いだ命を大切にすることも私たち一人ひとりの役割です。給食を通して食べ物を大切にすること、さらに自分の命を大切にすることを伝えていきたいと考えています。給食では、多様な食材・献立が登場します。どんな献立でも積極的に向かい合い、残さず食べて、体も心も大きく成長していくことを願っています。

5年生の窓

5年担任

5年生は江戸川小学校で一番人数が少ない学年です。しかし、全力で取り組み楽しむ力は一番だと思っています。

学芸会「モモと時間どろぼう」では、台本を読み、動作やセリフの言い方を鉛筆で書き込む姿や衣装を着け役の人物になりきっている姿から演じる楽しさが感じられました。演劇では主役が脚光を浴びますが主役を支える脇役や劇を支えるスタッフの存在は不可欠です。今年は高学年として劇に取り組むだけでなく、劇を支える照明や放送、大道具等のスタッフとして責任をもち仕事をしました。

6年生と合同で行っているタグラグビーでは声を掛け合って練習したり、チームのめあてを決めたりと学年の垣根なく取り組んでいます。6年生は5年生を気遣いみんなが楽しいチームになるように考えてくれています。思いやりの気持ちがあふれている江戸川小の伝統を5年生も6年生の背中から感じています。あと4か月で最高学年になります。江戸川小の先輩方に負けない素敵な人になれるようこれからも行事や学習に全力で取り組んでいきます。

校長談話室

12月17日(木) 10:00~12:00

お一人でも、お誘い合わせでも… お気軽にどうぞ

連絡先: 3266-1602 副校長

学芸会の思い出

11月14日土曜日、ぼくは、学げいかいをやったよ。すごたのしかったよ。さむらいのぼめんの、おにぎりをとるときに、たのしかったよ。「うわー！すごい。」といったよ。

ぼくは、海ぞくになりきってえんぎをしました。大きな声でセリフを言えました。お客さんがよろこんでくれてうれしかったです。また2年後の学芸会もがんばります。

「その一」から「その六」の場面まで、全員が大きな声ではっきり言えたのでよかったです。1日目も成功したけれど、2日目はもっとうまくできて大成功!したので、うれしかったです。

ぼくは、自分なりに役にはなれなかったけれど、みんなで一つの劇をつくるために役になりきってがんばりました。このことからみんなを思う大切さを学びました。劇が大成功で終わってよかったです。

この学芸会を通して学んだことは、全員が主役になってより良い学芸会ができるということです。「モモと時間どろぼう」ではモモが主役だけど、一人一人が役を一生懸命に演じなければ物語が成立しません。5年生は全員が全力を出し、主役になることができました。

私は、学芸会を通してみんなで一丸となって、協力することの大切さを学びました。劇では、「夢の配達人」役を、精一杯演じ切りました。心をこめてセリフを言ったり、照明や音響など裏方の仕事も頑張ったりしました。みんなの劇を成功させることができてよかったです。